機能ID	中項目	機能名称	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
0310007	3.1 住登外者宛名番号管理	住登外者宛名基本情報照会依頼受信機能	・標準準拠システムから住登外者宛名基本情報照会依頼に係る基本4情報及び抽出条件を受信できること	実装必須機能		・本機能を複数業務に跨るパッケージ製品の一部として提供する場合、本機能相当の機能要件を満たしていれば、機能配置等の実装方式は、必ずしも命令の規定を適用する必要はない	令和8年4月1日
0310008	3.2 名寄せ	名寄せ情報管理機能	・基幹業務システムからの住登外者宛名基本情報の更新依頼受信の有無によらず、名寄せを行った住登外者宛名基本情報を紐付け、住登外者宛名基本情報の更新等ができること。その際、既に名寄せ先が登録されている（名寄せ元の）宛名番号を名寄せ先として指定できないように制御すること ・名寄せを行った住登外者宛名基本情報の紐付けを解除し、住登外者宛名基本情報の更新等ができること	実装必須機能		・本機能を複数業務に跨るパッケージ製品の一部として提供する場合、本機能相当の機能要件を満たしていれば、機能配置等の実装方式は、必ずしも命令の規定を適用する必要はない	令和8年4月1日
0310009	3.2 名寄せ	名寄せ履歴管理機能	・誤った名寄せを行った場合、名寄せの解除等を行うために名寄せを行った情報（履歴）を管理できること	実装必須機能		・本機能を複数業務に跨るパッケージ製品の一部として提供する場合、本機能相当の機能要件を満たしていれば、機能配置等の実装方式は、必ずしも命令の規定を適用する必要はない	令和8年4月1日
0310010	3.4 操作権限管理	操作権限管理	・システムの利用者及び管理者に対して、個人単位でID及びパスワード、利用者名称、所属部署名称、操作権限（異動情報や表示・閲覧等の権限）、利用範囲及び期間が管理できること	実装必須機能	・認証に係る機能については、標準準拠システムで実装するか、認証基盤等で実装するかを問わない。		令和8年4月1日
0310011	3.4 操作権限管理	操作権限管理	・職員のシステム利用権限管理ができ、利用者とパスワードを登録し利用権限レベルが設定できること	実装必須機能	・認証に係る機能については、標準準拠システムで実装するか、認証基盤等で実装するかを問わない。		令和8年4月1日
0310012	3.4 操作権限管理	操作権限管理	・操作者IDとパスワードにより認証ができ、パスワードは利用者による変更、システム管理者による初期化ができること	実装必須機能	・認証に係る機能については、標準準拠システムで実装するか、認証基盤等で実装するかを問わない。		令和8年4月1日
0310013	3.4 操作権限管理	操作権限管理	・アクセス権限の付与は利用者単位で設定できること ・政令指定都市については行政区単位で設定できること	実装必須機能	・認証に係る機能については、標準準拠システムで実装するか、認証基盤等で実装するかを問わない。		令和8年4月1日
0310025	3.4 操作権限管理	操作権限管理	・アクセス権限の設定はシステム管理者により設定できること	実装必須機能	・認証に係る機能については、標準準拠システムで実装するか、認証基盤等で実装するかを問わない。		令和8年4月1日
0310026	3.4 操作権限管理	操作権限管理	・アクセス権限の付与も含めたユーザ情報の登録・変更・削除はスケジューラーに設定する等、事前に準備ができること	実装必須機能	・認証に係る機能については、標準準拠システムで実装するか、認証基盤等で実装するかを問わない。		令和8年4月1日
0310014	3.4 操作権限管理	操作権限管理	・事務分掌による利用者ごとの表示・閲覧項目及び実施処理の制御ができること	実装必須機能	・認証に係る機能については、標準準拠システムで実装するか、認証基盤等で実装するかを問わない。		令和8年4月1日
0310027	3.4 操作権限管理	操作権限管理	・操作権限管理については、個別及び一括での各種制御やメンテナンスができること	実装必須機能	・認証に係る機能については、標準準拠システムで実装するか、認証基盤等で実装するかを問わない。		令和8年4月1日
0310028	3.4 操作権限管理	操作権限管理	・他の職員が異動処理を行っている間は、同一住民の情報について、閲覧以外の作業ができないよう、排他制御ができること	実装必須機能	・認証に係る機能については、標準準拠システムで実装するか、認証基盤等で実装するかを問わない。		令和8年4月1日
0310015	3.4 操作権限管理	操作権限管理	・IDパスワードによる認証に加え、ICカードや静脈認証等の生体認証を用いた二要素認証に対応すること	実装必須機能	・認証に係る機能については、標準準拠システムで実装するか、認証基盤等で実装するかを問わない。		令和8年4月1日
0310016	3.4 操作権限管理	操作権限管理	・複数回の認証の失敗に対して、アカウントロック状態にできること	実装必須機能	・認証に係る機能については、標準準拠システムで実装するか、認証基盤等で実装するかを問わない。		令和8年4月1日
0310017	3.4 操作権限管理	アクセスログ管理	・個人情報や機密情報の漏えいを防ぐために、システムの利用者及び管理者に対してログを管理（取得・検索・抽出・参照・ファイル出力を指す）できること（IaaS事業者がログについての責任を負っている場合等、パッケージベンダ自体がログを提供できない場合は、IaaS事業者と協議する等により、何らかの形で本機能が地方自治体に提供されるようにすること）	実装必須機能			令和8年4月1日
0310018	3.4 操作権限管理	アクセスログ管理	・ログイン認証ログを管理できること	実装必須機能			令和8年4月1日
0310019	3.4 操作権限管理	アクセスログ管理	・操作ログを管理できること ※個人番号（マイナンバー）の出力は禁止とする	実装必須機能			令和8年4月1日